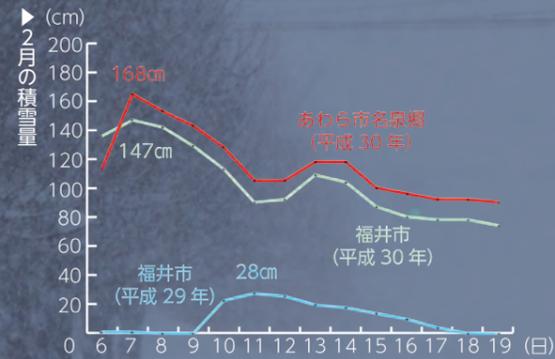


# 37年ぶりの大雪の中で

2月5日(月) 8時4分に嶺北北部に大雪警報が発表され、以後連日降り続いた雪は、37年前のあの歴史的な五六豪雪の名が比較対象として挙がるほどの積雪となりました。あわら市名泉郷では、昨年同時期の数倍にあたる最大168センチメートルの積雪が観測されました。

この記録的な積雪は、あわら市を含め県内各地に大きな被害と混乱をもたらしました。国道8号の立ち往生や公共交通機関の運休、スタック車両の続出といった交通に関する問題が発生したほか、家屋や農業用ビニールハウスの損壊、食料品店やガソリンスタンドの在庫不足、外出困難など市民生活に大きな影響が出ました。

7日(水) 17時9分に警報は注意報へと変わったものの、13日(火) 4時28分には再び警報が発表され、約2週間にわたり、降り積もる雪の脅威にさらされました。



## 市内の被害状況 (2月6日(火)～23日(金))

- 人的被害 重傷1人、軽傷5人
- 物的被害 全壊1件(非住家)ほか多数
- 農業被害 ハウス被害 166棟(338a、1億6956万円)  
作物被害 42棟(89a、1226万円)
- あわら温泉キャンセル状況(2月5日(月)～14日(水))  
※75人以上収容のホテルや旅館22軒からの回答  
2695件、1万1043人



新潟県妙高市からの支援



長野県茅野市からの支援



立ち往生車両に食料を配布する自衛隊員



## 温かな支援

避難所で提供するカレーを作る地元住民



立ち往生が発生した国道8号



歩くのも困難なほどの積雪



排雪場に積み上がった雪の山

## 大きな被害



吹雪の中での除雪作業

必要な除雪や支援、情報が迅速かつ十分に行き渡らず、市民の皆さんには多くのご不便とご迷惑、ご心配をお掛けしました。現在、市では災害対応の見直しを行っております。今後、万が一の事態が起こった際には、今回の豪雪での教訓を生かし、国や県と連携しながら、市民生活の利便性と安全の確保に、より一層努めていきます。

問合せ 建設課(除排雪関係) 総務課(その他被害など)  
☎73・1221

## 県内、市内の雪害対応

日	対応内容
2月5日(月) 8時4分	嶺北北部に大雪警報発表
2月6日(火) 7時	あわら市雪害対策連絡会議設置
2月6日(火) 11時	国道8号あわら市一坂井市間で車両の立ち往生発生(最大で約1500台)
2月6日(火) 12時45分	県災害対策本部設置
2月6日(火) 14時	陸上自衛隊、県からの災害派遣要請受託。立ち往生解消のため除雪作業にあたる
2月6日(火) 14時	あわら市災害対策本部設置
2月6日(火) 18時20分	立ち往生車両へおにぎりとお水を提供
2月7日(水) 10時	立ち往生車両へおにぎりとお水を提供
2月7日(水) 18時	立ち往生車両のドライバーのための一時避難所を3カ所開設(瓜生区内、笹岡区内、熊坂区内)
2月8日(木) 5時	国道8号の立ち往生解消
2月9日(金) 5時	陸上自衛隊、撤収
2月10日(土) 5時	国土交通省からの除雪車受け入れ
2月10日(土) 13時	県からの除雪車など受け入れ(13日)
2月10日(土) 13時	災害時相互応援協定を結んでいる新潟県妙高市からの除雪車受け入れ(15日)
2月19日(月) 9時	あわら市災害対策本部閉鎖
2月20日(火) 9時	雪害対策連絡会議に体制を戻し、雪害対応を継続
2月20日(火) 9時	市長が、県内選出国會議員に対し、財政支援などを陳情
2月21日(水) 9時	市長が、知事や県議會議長、他市町の首長などともに大臣らに面会して、財政支援などを要請